



● さわやかインタビュー

## 県民の健康増進を願う

南 禮三さんを訪ねて  
〈兵庫県立健康センター所長〉

六月一日、兵庫県立健康センターがオープンした。同センターは、兵庫県民の健康増進の拠点となるべく設立されたものだ。五月一九日の竣工式で坂井時忠兵庫県知事は「県民が健康について考えるための『健康元年』としたい」と県民の健康づくりについて積極的な取り組みを表明した。今月はオープン早々、同センターの南禮三所長をお訪ねし、お話を伺った。

健康度測定から、まず、始めます。

——最初に設立の目的はどこにあるのですか。

南 そもそも、各自治体に健康増進センターを設けて県民の健康増進の拠点をつくる、という厚生省の指針に基づいているわけです。それと言うのも、ご存知のように中高年齢層が増えていきますね。当然、医療費がかさむ。病気になる前に健康を増進しておけば医療費の節約になるという思想があつてのことですね。

——具体的にはどういうシステムになっているのですか  
南 一番の特徴は、健康度測定です。まず検査をしてから運動をしてくださいということですね。センターには

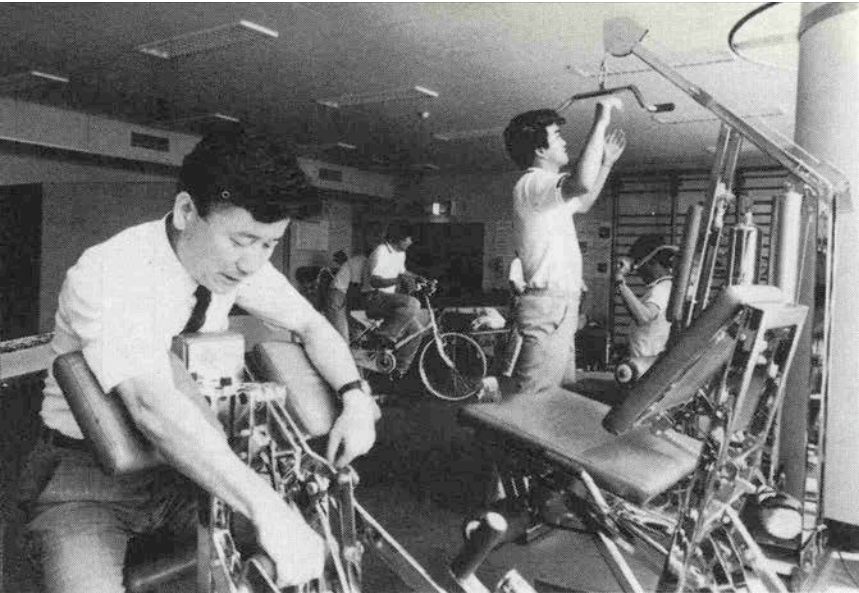
いくつかの運動教室がありますが、それに参加を希望する方に受けていただく。教室に参加される方には、初心者の方や、中高年齢でも、これまであまり運動をしていなかったの、というスポーツをやったらいいか分からないという方が多いわけです。

——その内容はどんなになっているのですか。

南 幼児は問診、尿検査、体力測定。小・中学生は、幼児の検査プラス安静時の心電図。一般は、それにさらに血液一般検査、肺機能検査と負荷心電図が加わります。以上は教室コースを希望される方の検査ですが、これとは別に健診一般コースがあります。教室コースの検査に加えて、血液生化学検査（肝機能、コレステロール、中性脂肪など）、眼底検査、胸部レントゲンを実施するコースです。

——そういう健康度測定が終って希望する教室に入るといふことですね。いくつかの教室があるのですか。

南 プールを使う水泳教室には、幼児、少年少女、女性、中年、一般成人の各教室、また、体育ホールを使うスポーツには、幼児体操、少年少女体操、少年少女空



5階のトレーニングルームには最新式のトレーニングマシンが各種そろっている。

手道、女性バドミントン、女性卓球、女性バレーボール、ジャズ体操、リズム体操の各教室があります。その他、研修室ではヨガ教室、トレーニングルームでは男女別の健康教室もやっています。

— 教室の定員は何名ですか。

南 三〇名です。教室に入ってから個人指導的な面が強いですが、もちろん一人ひとり個別にいうことは無理ですが、体力に応じて三つぐらいに分けて指導をしています。現在、運動指導員は一名おります。

— そうしますと、センターを利用できるのは教室に参加している方だけですか。

南 いえ、そういうことはないですよ。プール、体育ホ

ール、トレーニング室などは一般の方もご利用いただけます。もちろん健康度測定の必要はありません。

— それぞれの体調に応じた運動を楽しんでください

— 南所長は、もともと病院に勤められていらっしやったそうですね。

南 神戸大学附属病院に十年、さらに、国家公務員共済組合の六甲病院に四年、そのあと深江で八年間、開業医をやって、センターへ来ました。

— じゃ、人一倍、健康には気をつけていらっしやるんでしょね。

南 それが、今までは検査もあまり受けなかった（笑）ただ肥り過ぎには気をつけています。

— スポーツの方はどうですか。

南 最近はテニスぐらいですか。スキー、山登り、サッカーは好きですね。大体、スポーツが好きなんです。

— 最後に、これからの抱負ということでお話を締めくくらせていただきたいと思いますが。

南 年を取ると誰でも身体上の欠陥が出て来ますね。それも治るのと治らないのとある。いわゆる年病は完全に回復するのは難しい病気です。医学の進歩によって細菌による病気は完全に治るようになりましたが、年齢による生理的变化や身体的変化が原因のものは完全に治るのとは不可能です。それでも加齢による身体の変化も治るのではないかと考えている人もいて、それが病院に通う結果となる。もちろん病院に通うことが悪いと言うのではないのですが、生活をあまり規制しないで、言ってみれば悪いところをなだめと言うか、だましながら、生活を楽しむ方がいいわけですね。本当はスポーツが好きなだけれど血圧が高く運動が出来ないという人にもそれなりに楽しめる運動をお探ししましょう、というのがわれわれに課せられた使命だと思っています。

（兵庫県健康センター所長室にて）

□兵庫県立健康センター

神戸市東灘区田中町五丁目三二〇 富四一―二三四 八ヶ月曜休館



# 太陽と緑がいっぱい 西神地区工業団地

中田 善司 △神戸市経済局長▽

宮脇 義雄 △甲南電機株式会社建機部取締役部長▽

小脇 正弘 △川崎重工業株式会社  
油圧機械事業部管理部長▽

青木 正治 △日本電気株式会社神戸支店長▽

★これまでの神戸にない最先端の企業が進出

内陸型の工業団地として、西神地区工業団地が部分的にはありますが、すでに稼動をしています。「太陽と緑のインダストリアルパーク」と呼ばれているように東西約二キロ、南北約一・五キロの緑豊かな工業団地です。また、これと隣接して西神地区住宅団地も計画され職住近接の新しい町が出来つつあります。今回は企業誘致のため奔走された中田神戸市経済局長、操業中または進出を決定された各社にお集りいただき、同工業団地の概要や事業内容などについてお話しをお願いします。

中田 西神地区工業団地をつくりました動機と言いますのは、「企業城下町」という言葉がよく使われた頃ですが、昭和五十二年に神戸経済の主力である造船や鉄鋼の合理化ということがあり、神戸の経済が臨海型に片寄り過ぎている、ある一部の企業の不況が都市全体の活力に影響を与えては困るというような反省がありまして、それまでも計画中だった西神地区工業団地―内陸型の工業団地の造成にピッチを上げて来たわけです。

貝原 正夫 △神戸機械金属団地協同組合理事長▽

佐伯 敏男 △西神テトラパック株式会社総務課々長代理▽

岡本 博央 △富士電機製造株式会社神戸工場総務課々長▽

新開 純也 △株式会社タカラブネ神戸工場準備室長▽

この西神地区工業団地のプロジェクトにつきまして、昭和五十三年に四人の直属のプロジェクトチームをつくってもらって動き始め、神戸経済の将来のために、全国の有力企業に誘致を呼びかけました。おかげさまで神戸の産業立地としての利点が認められて、今までの神戸になかったような最先端の企業に出て来ていただいております。神戸の新しい産業の展開が見られるということで、非常に喜んでおります。

この工業団地の特色は、大きく言って三つあると思います。一つは、二五〇ヘクタールの内、工場用地は一五〇。約六割です。あとの四割は道路、公園といった公共施設です。でき上がると緑の多い、イメージのいい団地になると思います。それに昭和六十一年開通の地下鉄を中心とした大きな公共投資、大きなプロジェクトもっています。私は「三角幹線」と言っているのですが、中国自動車道と西神地区工業団地と、そして港。この三点を結ぶ道路と地下鉄という非常に大きなプロジェクトが進行中です。



中田 善司 さん



貝原 正夫 さん



宮脇 義雄 さん



佐伯 敏男 さん

もう一つは、工業団地を中心に七万人ぐらいの住宅団地ができて職住近接となる。それからユニバーシアードが行われる西神総合運動公園とか、あるいは外大が移る学園都市とか、かなり近代都市的な産学住が一体となったメガロポリスができて上がります。

三つ目は、数少ない大都市近接の工業団地だということですね。

進出企業にはコンピューター関係が多いですが、ロボットあり、家電あり、洋菓子あり、自動車、カメラなど多彩な企業が出て来ておられます。

具体的には、操業中が、西神テトラパック、国際試薬、甲南電機、日本道路、日本リリー、神戸発動機、神戸機械金属団地（12社）、西神機械金属団地（14社）、尼崎パイプ製作所、工場建設中が神戸工業団地（14社）、タカラブネ、進出が決定している主な企業には、松下電器産業、日本電気、富士電機製造、星電器製造、小松フォークリフト、ミノルタカメラ、モロゾフ、川崎重工業、ミサワホームなどです。

この間、百社を越えたと思うのですが、各社からの雇用計画と最終的な出荷額を聞きますと、総額で七千五百



小脇 正弘 さん



岡本 博央 さん



青木 正治 さん



新開 純也 さん

億。雇用で一万九千億という数字が出ております。神戸の大手四社といわれます川重、三菱重工、川鉄、神鋼を合わせて大体七千億ぐらいだと思います。だから非常に大きなウエイトの工業地帯になると思います。しかも今までと同じものをつくるのではなくて、新しいシステムを展開されるような気がしますね。

#### ★油圧ブレイカー専用工場——甲南電機

思い切って進出——神戸機械金属団地

民需への積極進出の拠点に——日本電気

宮脇 私ども甲南電機は本社が西宮にございます。社名は「電機」になっていますが、空気機器のコンポーネントを主に造っています。取り扱い品目が小型軽量だったので、十年ぐらい前から油圧ブレイカーと言いました、建設機械のアタッチメントと言いますか、一つの道具ですが、これの生産を始めたわけです。それで、四、五年前から明石の北の神戸鉄工団地で油圧ブレイカーの生産をやっていたのですが、年とともに生産量が増えて、手狭になりました。どこかに工場を建てたいとの希望がありましたところ、神戸市からお話があり、一昨年にまとまりました。その年の十一月六日に油圧ブレイカーの



専用工場としてオーブンしました。五千坪を譲渡していただいたのですが、二千五百坪に工場を建てています。

最近、ようやく通勤用のバスもついたのですが、約一年少々は、本当に内陸の離れ小島みたいでした(笑)。

キジは居るし、キツネは出て来るし(笑) えらい山の仲間だ、という感じでした。出来れば、「森の中の工場」という感じの本当に落ち着いた工場が出来ればいいな、と思っています。

**貝原** 神戸市内の機械、金属、電機、板金、プレスなどの中小企業ばかりが集った社団法人神戸市機械金属工業会という団体がずい分以前からあったのですが、住工混在の地区、あるいは住宅に近い所にあったので常に小さなトラブルで住民の方々に迷惑をおかけしておりました。それで今から十年ぐらい前から受け皿を神戸市にお願いしてたんですが、今度の西神地区工業団地がたまにまわれわれが望んでいた受け皿だったわけです。

ただ何分、中小企業というのはまとまりがなかなか難しい。団結のしにくい性格があるのですが、例のオイルショック時の不況でみんながガタツと来まして、支離滅裂の形になったのですが、不況の時にこそ団結をしないとけない、中小企業といえども百年の大計が必要なので、景気の浮き沈みに関係なく、最後まで残った12社が市の経済局のご指導を得て、五十五年五月に操業を始めた。当時は明るい見通しもなく悲愴な気持ちが多分にあって進出したのですが、今になれば思い切って出て来てよかったと思っています。

**青木** 私どもの会社はC&C、コンピュータと通信を販売理念といたしまして営業活動を展開しているのですが、元々の発祥は電電公社をはじめとした中央官庁を中心に仕事をして来たわけです。したがって工場も殆んどが関東地方が中心です。しかし、今から十数年前から工場の地方分散ということで各県毎に一五ぐらいの直轄生産会社をつくりました。関西地方では山崎に兵庫日本電気がございます。直轄事業所は殆んど関東に集中し

ています。そういう状況のなかで、昭和五十三年に現在の社長の関本が国内販売グループの担当役員に就任、五十三、五十四年と二年間、担当をしましたが、もともと関本は神戸の新聞地で生まれ育ったわけです。その担当のときに、今後は民需に積極的に進出するという基本方針を出しましたが、積極的に販売を展開するために、特に関西地方に工場がないのは非常にイメージが低いということと、ちょうど神戸市経済局から熱心な誘致がありまして、五十四年に三千坪を契約いたしました。そして今年、一万二千坪を契約させていただき、トータルで一万五千坪となります。地域と密着した営業活動を展開して行くということで進出させていただいたわけです。この工場を昭和六十年ぐらいいまでに完成するべく今後推進して行くことでやって行きたいと思っています

#### ★徹底的な合理化工場——富士電機製造

**ロボットの量産基地——川崎重工**

**岡本** 私どもが西神地区工業団地へ進出する動機は、工場移転ということです。現在、兵庫区に神戸工場があるのですが手狭になり、かと言って工場制限地域なので手を加えるのもやっかいである。工場としての将来性が無い、ということが、昭和五十年頃から私どもの悩みであったわけです。たまたま経済局からの強いおすすめがございまして、従業員の転居を避けて工場を新しく移転しようではないかということに基本方針が固まったわけです。それで二万坪を契約させていただきました。

工場の建設計画は二段階に分かれておりまして、一段階目は、一万坪を利用して移転するという計画です。残りの一万坪については、これから新しい製品を導入するということになるかと思っています。

主たる製品分野は受配電盤とモーターの可変速制御装置ですが、受配電盤はもう殆んど技術的に改良の余地がないという製品で、生産管理面でどう無駄を排除して行くかで競争力が決まるというものです。したがっていましめて、工場建設の基本計画として、とにかく徹底して合理

化された工場にしたいということがあります。具体的に  
はコンピュータを高度に駆使した事務、設計、管理シ  
ステムで極限までの無人化を計るという計画です。

もう一つは八十年代の工場ということで、身体障害者  
の雇用を考慮した工場にしたいと考えております。

また、受配電盤の他にもう一つの柱として、パワーエレ  
クトロニクス、先ほど申しましたモーターの可変速制御  
装置の基礎的な技術を軸にして、いわゆるメカトロ事業  
分野をにらんだ。パワーエレクトロニクス、この製品の拡  
大を第一期の計画のなかで計って行きたいと考えていま  
す。スケジュールといたしましては、本年夏に着工の予  
定で、来年の五月頃に移転、六月から操業の予定です。

小脇 私どもの担当いたしましたしておりますのは、油圧機械と  
いいまして、ちっちゃなポンプモーター、それからロボ  
ットの両方をやっております。油圧機械の方は樋谷町の  
西神戸工場で、昭和四十三年から油圧ポンプなどを生産  
しております。ロボットの方は、従来から明石工場の一  
部の手狭なところでやっております。

ロボットは、オイルショックの頃は非常に生産量が少  
なくて、月間二、三台、年間で二十台もあればいいぐら  
いに細々とやっております。それが五十三年頃からで  
しょうか、自動車の生産が昔の一種大量生産から混量生  
産に変って来た段階で、今までスポット溶接に専用機を  
使っていたのが、それでは混量生産とうてい間に合わ  
ないというので、ロボットを大量に入れるということが  
始まりました。そういう時流に乗ったといえますが、混  
量生産が主体になったのと、ロボット自体の信頼性が高  
くなったということでロボットの需要が増えて来まし  
た。五十三年から量的に増えて来て、今年は月間六十台  
から七十台という状況です。

昨年の中頃までは工場増設ということは考えていなか  
ったのですが、将来は現在盛んになっていきますスポット  
溶接以外に、アーーク溶接、塗装、それから今年の春から  
売り出しています電動式の組み立てロボットの増産もか

なり予想されますので、どうしても明石工場内では増設  
不可能ですし、西神戸工場に増設も考えられるのですが、  
将来的なことを考えますと、ロボット専用工場をつくり  
たいということで、昨年の秋口から物色を始めました。  
それで今年になって西神地区工業団地に申し込みをさせ  
ていただきました。

私どもは三期ぐらいに分けて工事を進めたいと思っ  
ています。一期工事は六〇年に備えまして、月産一二〇台  
から一五〇台生産可能な工場というのを考えていま  
す。それが一万二、三千平米の建物だろうと思います。  
そのためには土地が四万から五万平米が必要となる。将  
来、十年後の構想を考えれば十万平米近い土地が要ると  
いうことで、申し込みは十万平米させていただいております。

#### ★洋菓子メッカで力をつける——タカラブネ

二千の候補地から西神を選ぶ——西神テトラバック  
新開 私どもは京都のお菓子屋で、関西を中心にしまし  
て東海、首都圏で約八百店のフランチャイズで店をや  
っております。東海地区あるいは首都圏におきまして二年  
おきぐらいに工場を建てて来たのですが、ももとの発  
祥であります関西でかなり店数が増えて来たということ  
で、京都の本社工場がかなり手狭になって来ました。そ  
れで新しい工場をどこにつくるかで検討をして来たので  
すが、神戸市から熱心な誘致があったことと、もう一  
つは何と言いましても神戸は洋菓子の発祥の地と言いま  
すか、メッカでもありますので、そこでいろいろと勉強  
をしながら新しい洋菓子のノウハウをとり入れたいとい  
うようなこともありまして西神地区工業団地を選ばせて  
いただいたわけです。

一応今年の十月から営業開始ということで現在、工場  
を建築中です。中味といたしましては、関西第二工場と  
いう性格を一面ではもっているわけですから、生産品目  
につきましては従来とそう変わらないということもある  
のですが、一面ではロボット化ということまでは行き



ませんが、ある程度、マイコンなどを入れてまして、極力合理的なラインにしたいと思っています。そういうことが必要だということ、他方ではやはり、お菓子なので伝統的な職人芸というところもありますので、現在の需要の多様化に合わせまして、出来るだけそれに対応できるように工場にしたいと考えております。

特に神戸は洋菓子のメッカですので、私どもはこれまではどちらかと言うと大衆性のある商品ということで伸びて来たのですが、神戸のセンスを勉強しながらやって行きたいと思っています。

佐伯 私どもは一九七九年十二月に起工、八十年十二月に建物が完成、昨年五月二十日に竣工式をやりました。職員一五〇名で操業をやっております。テトラパックは一九五二年にスウェーデンで、液体食品の流通システムをつくって行こうという会社でスタートしたわけです。日本では二十年前に営業を始めました。七十年代の初めに御殿場に工場をつつくり、そして十年経った今、西神に工場ができたということです。

工場の用地については、まず二千ぐらいの候補地をあげまして、そのなかから西神を選びました。それは、やはり神戸港をひかえて輸入に便利がいいということ、一方では、国内の流通経路の要点であるということです。名神高速、中国自動車道、山陰道、山陽道、あるいは北陸道、これの要点であり、将来は四国架橋の完成ということもある、ということで最終的に決めました。

神戸市が工業団地として設計され、緑地などもあらかじめ確保され、企業サイドに目を向けられた行政をされているということももう一つの決め手となりました。

私どもは世界に二十三の工場をもっているのですが、紙容器を生産するというところでつくられたもので、昨年これと同じものが三つつくられたのですが、過去につくられた工場の全データを集計しまして、最新鋭の工場にしています。以後できる工場については、これと同じものをつくって行こうという考えです。

職員につきましても神戸地区から全面的に採用し、われわれとしましては神戸に育って行くということを第一番に考えています。まだまだ発展段階にありますので、これからも神戸の優秀な人を採用できればと思います。

工業団地は道路幅も広いし、公園なども相当組み入れられ、テニスガーデンも先日オープンし、公的サービスが行き届いていますね。ただ将来は、企業団地と住宅団地という二つの面が重なって来ますので、トータルとしてその地区の人が使えるものをつくって欲しいです。宮脇 従業員にも職住一体ということで、ここに住みたいという者が多くなって来ていますね。

中田 西神地区住宅団地は、関西では最後の一戸建ての地域だといわれています。

員原 七十パーセントが一戸建てか、二階建てのタウンハウスで、あとの三十パーセントが中高層住宅のようですね。ゆつたりとした住宅団地ができるようですね。

佐伯 それと、われわれは外資系の企業ですが、神戸には外国的な考えの受け入れられやすいところがあります。が、この上にさらに空港があればと思いますね。

岡本 外から来たときの顔という意味では、確かに空の便からは遠いですね。また、「顔」ということでは新神戸駅の周辺はもっと整備をして欲しいですね。

青木 われわれはソフトウエアの工場をつくろうと考えているのですが、ソフトは客と密着していかないといけないですね。そのために早く交通の便をよくしてもらいたいと思っています。

岡本 西神地区の工業団地と住宅団地とをふくめて一つのコミュニティとして文化をつくりあげて行くような方向へもって行きたいですね。

中田 西神には素晴らしい町ができると思います。おっしゃるように年月を要すると思いますが、文化をつくって行かないといけないですね。西神を文化豊かな町にしたと考えています。

**田崎真珠株式会社**

取締役社長 田崎 俊作  
神戸市中央区旗塚通 6-3-10  
TEL (078) 231-3321

**オールスタイル株式会社**

取締役社長 川上 勉  
神戸市中央区伊藤町121  
TEL (078) 321-2111

**カネボウベルエイシー株式会社**

取締役社長 稲岡 必三  
神戸市中央区三宮町1丁目9-1-807  
センタープラザ東館8F  
TEL (078) 392-2101

**株式会社ベニヤ**

取締役社長 松谷 富士男  
神戸市中央区三宮町1丁目10-1  
TEL (078) 332-3155

**モロゾフ株式会社**

取締役社長 葛野 友太郎  
神戸市東灘区御影本町6丁目11番19号  
TEL (078) 851-1594





神戸を象徴する界隈の新しい魅力づくりについての提案

# トアロード・大丸前群像



渡辺 利武



山田 元一郎



芦原 博之



大東 八郎



白川 秀則



澤田俊夫



吉田 俊夫



廣瀬 正典



清水 俊夫



奥川 梅子



辻井 豊



西川 幸利



末積 良之助



池本 昭三



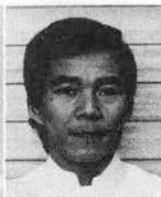
笹原 勝彦



河南 忠義



中西 省伍



廣川 孫治



藤井 節子



永田 良一郎



龍 秀昭



上根 保



秋澤 三夫



杉浦 實



島田 光夫



芹澤 豊男



吉岡 潔



砂川 松枝



北出 弥一郎



河崎 保

## ★個性豊かな坂のある街づくりを——トアロード

澤田 俊夫△草葉園社長▽

トアロードは、海から山まで一本の道。しかも北野町に続いています。かつてあった街灯の設置や北野との接点となる神戸外国倶楽部付近にシンボルマークの建設、街路樹の充実などによって独特のムードのある街となつて欲しい。

白川 秀則

△日本専売公社神戸営業所長▽

「すばらしい」と感銘を受ける街は、垢抜けしたアイデアが生かされているが、トアロードを徹底した本物指向でアダルトの目を奪うような街、ターゲットをアダルト中心にしぼった街づくりをしてみではどうだろう。

大東 八郎

△レストランハイウェイ相談役▽

トアロードは、時の流れによる変化はあっても、山側を眺めた風景は本質的には変わっていないと感じますね。途中まで完成している歩道の整備は、つきあたりまで続けば、その風景として壮観でしょうね。

芦原 博之△園サノヘ社長▽

神戸で最も国際的なのがトアロードですが、残念ながら戦後の復興は遅れました。道の改装などをしてその第一歩を踏み出した現在トアロードの街づくりとしては、

ひと味ちがう銘店が並ぶ街となるべく進めていくことでしよう。

山田 元一郎△れんが亭社長▽

トアロードは、元町やセンター街とちがって、南北に続くオープンなストリートです。つまり坂道になつていふことで、エキゾチックな雰囲気をもつ坂道として「歩く道」となるべきですね。車の往来が激しすぎますね。

渡辺 利武△園マキシ社長▽

神戸唯一の南北直線の通りで戦前から洒落た雰囲気の界限として知られているだけに、行政の力を得てパリのシャンゼリゼのように美しく整備したい。路面の電柱をなくし、北側の一角に文化的な憩いの場を作ってほしい。

西川 幸利△紳士服西川▽

エキゾチックで高級な雰囲気は時代離れた良さがあつて、本物志向の街として各店が頑固に神戸らしさを保っています。花や緑のあるメインロードとなるよう行政予算も組んで欲しいですね。またできれば休日を一統したいですね。

辻井 豊

△日経商事株式会社・トアロード中央商店街振興組合理事長▽

トアロードといつても高架で分断され町の化粧も別々。これを何とか一本の魅力ある町にしたい。

北野の異人館を訪れる人たちがトアロードを下りて帰るようなコースをつくりたい。チンチン電車が山手まで走れば名物になるが。

奥川 梅子

△エスター・ニュートン・オーナー▽

長いフランスパンを抱えて歩くのが似合う街です。商業地で欧米中国など外国籍の人がこれ程多い所もないという位、横文字が多く異国情緒が楽しめる。願わくば、車の通りをなくして山からメリケンパークまで散策の道にしたい。

清水 俊夫

△株式会社クロス取締役社長▽

10何年前から懸案だった歩道のカラー舗装もポートピアでようやく実現し、次には電柱の美化と駐車場の整備に取りかかりたい。地元客も大切だが、世界に名を知られたトアロードとして、遠来の人のために共同駐車場がぜひ必要だ。

廣瀬 正典

△トアロード商店街会長カキ屋金物店社長▽

北野とメリケンパークを繋ぐ観光導線としての道を作らねばならぬ。車を閉めだし（あるいは車道を狭くし、速度制限を厳しくする）ブロンズ像、花壇、ベンチ、テント風のしゃれたアーケード等を設置し、人間のための道路にしたい。



吉田 俊失(ハイプアル不二屋社長)

トアロードは、神戸の古くからの店が多いので、神戸らしい商品揃えが特色ですね。最近、舗道が新しくなったので、アーケードも、もっと明るくモダンで軽やかなデザインで創れば一段とはなやかに夢を誘うと思います……。

廣川 孫治

△(神戸市神戸市事業部直営店課長)

トアロードは北野と元町方面を繋ぐ重要な道です。歩行者天国の時に、カフェテラスや朝市のようなものが路上に並ぶと楽しくなりますね。シンボルのなものを作り地方からの人の想い出に残る個性的な町にしたいと思います。

中西 省伍

△(サロン・デ・モード中西代表取締役)

フアツションは個性的でなければならぬ。これは服装だけでなく、フアツション都市神戸の町並

## ★市民に解放、公園的雰囲気のショッピング街に——大丸前

秋澤 三夫(大丸神戸店店長)

老舗が揃い、格調のある伝統的な街、といえば東京なら銀座、神戸なら元町でしょう。『I♡元町』のキャンペーンに沿って、各店舗同士が仲良くしたい。しかも個性がハッキリした店づくりを意識することが、神戸らしさに繋がる。

上根 保(カミナ代表取締役)

来街客に情緒的満足を与えるた

みそのものに個性的な匂いが要求される。それにはまず知名度の高いトアロードを最も神戸らしい雰囲気のストリートに整備すべきだ

河南 忠義(河南工業社長)

道の真中を車が通り、催事をやるににくいのでせめて一車線にしてほしい。二、三年のうちにアーケードをとりかえ、それを基盤に、噴水やランタンの設置など、道を整備し、トアロードの名前に誇りをもてる界限にしたい。

笹原 勝彦

△(ヘンスフォース代表取締役)

自分の主張で洋服を選ぶ感性の高い若者が増えている。この若い消費者にアピールする新しいトアロードの顔を創っていきたい。神戸にこだわらず東京にも影響を与えるようなフアツションの新風をトアロードから送りたいと思う。

池本 昭三(ハバウリスタ代表取締役)

めに、各店はもちろん、商業集積全体として、真剣にその方策を考えなければならぬ。まさに「物より心」の時代ですね。トアロードとしては車の通行止めが最大のポイントだと思いますね。

瀧 秀昭(みよし社長)

近頃の商店街には、ゆとりがなさすぎます。機能を重んじ、メリツトの追求に走ってばかりでは

北野町からトアロードを経て、南京町を通り、構想中のメリケンパークまでつながる。"お客さんの流れ"を早く定着させたい。まずトアロードの車の通行を禁止して若い人や家族連れが気軽に立ち寄れる街にすることが望まれる。

末積 良之助(末積製鋼代表取締役)

新しい店が増え地域的にはオーバーストアの状況の中で、昔から知名度が高いトアロードの伝統あるイメージを今取り戻す必要があると思う。各店が個性的なトアロードらしい専門店としての生き方を高める様、さらに努力すべきだ

杉浦 實(ハスギヤ代表取締役)

トアロード商店街の舗道が拡幅されて以来、人通りも増えて商店街も賑い、協力頂いた行政側の方々に感謝している。さらにオアシスロード時間帯には、往來の人が憩うベンチやパラソルを設置できるように規制の緩和をお願いしたい

お客様が疲れてしまいます。この界限は個性の強い店が多く、遊んでいただけで、結果として買物に結びつくように心がけたいですね

永田 良一郎(永田良介商店社長)

休日にはトアロード(高架浜側)と大丸前が歩行者天国になるが、本来的には歩道の幅をもっと広げるべきだ。パリのシャンゼリゼ通りのようなオーブンスペースが欲

しい。その中でアダルト志向のショッピングタウンをつくりたい。

藤井 節子△装苑大丸前店々長△

ハイセンスな商店群にふさわしい名称が、まず欲しいです。さらに、交通をストップし、緑を一ぱいに、カフェテラスを出し、日曜日にはの市や青空画廊などが開催され、憩いと楽しいショッピングのできる町にしたいです  
河崎 保△神戸シャブ社長△

南京街やメリケンパークが完成すれば、元町通から大丸前、トアロードを通してセンター街へと夜間のウインドウショッピングが楽しめるよう工夫したい。行政側と地域が一体になって、明るいプロムナードづくりを目指してはどうか  
北出 弥一郎△服部メガネ専務△

神戸のセンスの良さは買い物に來てくださる顧客のセンスの良さによるものと思うのです。何よりも顧客第一にすることが、繁栄につながるのではないのでしょうか。

大丸前中央商店会は新しい感覚で名称を募集したらいかがでしょう  
砂川 松枝△チニールカセツ△

大丸前中央商店街は、店の周りを街路がぐるっと取り巻いていいます。それを公園のように美しく整備し、安らぎがあり、ショッピングの楽しめる町にすべきです。來られた方に満足して帰っていただくことが町の発展につながります

吉岡 潔

△株式会社ヨシオカ代表取締役△

今やクルマより人を、ビルより緑を大切にする時代だ。大丸前の

商店街も芸術の香りが欲しい。町のシンボルとなるもの、例えば彫刻などをつくる。それも第一級のものが必要。我々も地域全体のことを考えないといけない時代だ  
芹澤 豊男△セリザワ社長△

大丸前のストリートは専門店が集結した、独特のユニークさがあります。オアシス道路を有効に利用して、ベンチや電話ボックス、彫刻、グリーンなどストリートファニチュアをうまく配置し、市民に解放できたらいいですね。

島田 光夫△つるや衣袋店社長△

例えば大丸神戸店と大丸前商店街に透明なドーム型の屋根を造り噴水やベンチ等を設置して、宽ぎのスペースに利用してはどうか。地下街でなく、明るい地上で自然日光を浴びながら憩いの場所があるというのは神戸らしいと思う。





## 経済ポケット ジャーナル



### ★ポートアイランド沖に

国内線と貨物専用空港を  
関西新空港問題について  
神戸市は昭和47年の市会での神戸沖設置反対決議を見直すことを決め、実質的に関西新空港の神戸沖誘致を示唆すると話題になっていたが、去る6月2日、神戸市は、ポートアイランド沖に国内線と貨物専用の空港を建設する案を発表した。



その計画によると、ポートアイランドの南側を約500メートル沖まで埋め立て、さらに3キロ沖の海上に埋め立て地約500メートルの空港島を神戸市、兵庫県、財界などによる第三セクター方式で建設するというもので、空港島とポートアイランド間

### ★神戸国際展示場で

#### OAフェア開催

は沈埋トンネルで結び、四車線道路とポートライナーを通して、神戸港と連携した関西の物流基地を形成しようというのがねらい。空港本体のほか、周辺整備、沈埋トンネルなど合わせて約一兆円の建設費、工期は調査期間も含めて8年と、関西新空港の泉州沖案に比べて安く早く完成できるとしている。

最新鋭のオフィス・オートメーション機器を集めて「21世紀のオフィス・オートメーションフェア」の主催

・兵庫県中小企業振興公社ほかVが、5月27日、29日ポートアイランドの神戸国際展示場で開催された。

株式会社ナハラ事務機、日本IBM㈱、日本電機㈱、日立製作所、富士通㈱、三菱電機㈱の6社が出店し、パーソナル・コンピュータ、ワードプロセッサ、



関心を集めたOAの展示

ファクシミリなど、省力化や作業効率の向上に役立つ機器を展示したが、来場者は真剣な目つきで説明を聞いた。質問をしたり、関心の深さをみせていた。

### ★ツリーバイフォアのニューモデル誕生

三井ホーム㈱神戸支店では、5月29日新三宮第2モデルハウスに、新しいヨーロッパアンシリズモデルハウスRhône(ロース)をオープン、発売を始めた。同日は岡田徳太郎同社副社

長、宮尾賢大阪支店長、正木康雄神戸支店長らによってテープカットが行なわれた。

ローヌは南欧風の外観に戸袋なしのシャッター雨戸や対面式キッチンなどが特徴で、ツリーバイフォー設計による3階建プランもたてやすくっている。



右上/モデルハウスRhône、右下/テープカット

モデルルームは四大家族を想定した64・40坪の広さで、石橋とみ子インテリアコーディネーターによる重厚味のある雰囲気だ。

### ★KOBEOフィスレディ★岡村 明美さん(23)



△国際実業試験院総務課V

「恋人は？」と訊ねたら、「いませーん」とやけに力のこもった答が帰ってきた。「この欄に載るとお姉さんが見つかるからせひ出たら部長さんに勧められました」コロコロと可愛い笑顔が続く。優しくて笑顔を素敵な人ならOKとのこと。

いま凝っているのはゴルフ。受付にいて外人の客が多いから語学力をもっと身につけたいと最後は優等生の弁。



# ■JCウィーク・イン・コウベ(夏の集い) 神戸いま21世紀への 出発

△出席者▽

西村 隆治 (神戸青年会議所 理事長)  
伊達 宗隆 (文化問題委員長)  
井上 尚樹 (文教開発委員長)  
川口 政二 (経済開発委員長)  
日野 賀生 (国家・行政問題 委員長)  
宇尾 好博 (総務委員)

小倉 攻一 (同副理事長)  
村井 顕彦 (社会開発委員長)  
大月 京一 (経営開発委員長)  
石丸鐵太郎 (空港問題実行委 員長)  
馬田 広光 (広報委員長)

## 21世紀の神戸をデザインする

神戸青年会議所は25歳から40歳の若年経済人の集まりで23名の会員の皆様がお忙しいなかで活発な活動をされていらっしゃるわけですが、今年は「神戸いま21世紀への出発」をテーマに初めて神戸青年会議所の手でJCウィークに取り組まれます。その趣旨からお伺いします。西村 青年会議所は創立より24年目にあたります。来年第25周年ということもあり、各専門委員会が対外的な事業に思いきって取り組んでみようということで、これまでは個々バラバラにやっていたのを一定の時期に集めて「JCウィーク・イン・コウベ、夏の集い」として開催します。春には神戸まつり、秋には文化祭典がありますので、夏はJCが中心にとった知的な祭りにしたい。

今回のテーマを少し敷衍しますと、現在は文明の谷間の時代です。大きくいうと石油エネルギーを中心に発展

してきた社会が今後新しい文明を生みだすためには代替エネルギーをどうしても開発する必要がある。おそらくそれは21世紀になるだろうし、今は先行きのはっきりしない谷間の不安感がある。神戸もポートピアという大きな花火をあげたが、今後どう発展していくか、いろいろなデザインは出ているが確信をもって進んでいける時ではない。それを何とか我々が夏に集まって考えていこうというのが趣旨です。今年だけで21世紀のデザインができるものではないが、神戸を考える祭りとして毎年継続的にやってきたいですね。

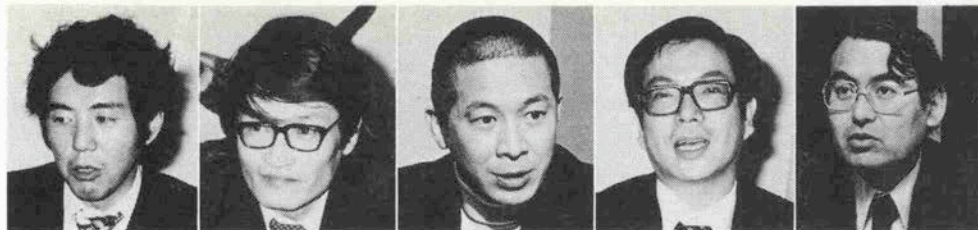
小倉 今までJCは市民に対するサービスをする運動という面が非常に強かった。しかし、これだけ行政サービスが行き届いた現在では青年経済人がどういう形で社会に取り組んでいくのが重要になります。文化、経済、社会、国際、行政という5つの柱をたて、理想を追うとともに次代を担う指導者としての現実処理能力を踏まえて各事業を展開したいと思います。

## ★現実をふまえた大人の運動を

— それでは各事業を担当される方から、それぞれの内容と抱負をご紹介いただきたいと思います。

伊達 文化の柱(神戸文化の創造)としては、みなと神戸のルーツである兵庫津を見直そうと講師の名生昭雄先生





(写真) 右より西村隆治、小倉攻一、伊達宗隆、村井顯彦、井上尚樹、大月京一、川口政二、石丸鐵太郎、日野賢生、馬田広光、宇尾好博

と一緒に大輪田の泊・兵庫津を探访します。三宮とか北野が脚光を浴びていますが、神戸の発展の源は港であり、その始まりは兵庫津なんです。その兵庫を我々神戸っ子がどれだけ知っているのか。空港問題など神戸の未来を考えるなら今一度過去の歴史をふまえる必要があるのではないかと一遍上人の廟所や清盛塚、かつて三大大仏といわれた兵庫の大仏さんの跡などを実際に目で見、肌で感じてもらい、もう一度神戸市民が兵庫のことを考える起爆剤になればと思います。

村井 社会の柱(生きがいのある人生)としては、高齢化社会の進行という深刻な問題を取り上げています。行政・企業など各レベルで対応策が練られていますが、基礎になるのは市民レベルの合意形成です。共成の社会とよく言われますが、共存とか共感、参加などが基本です。単なる老人問題ではない世界的・全国的なレベルで解決のつく問題でもない。地域の中で自ら解決策を模索していく必要がある。この市民レベルのコンセンサス形成のためにJCとして何ができるかと考えた結

果、従来は机上の研究活動中心だったものを、我々自身が市民の中に融け込んで1つの場づくりをしていこうということになりました。「武道とゲートボール市民の集い」は市内各区でゲートボールを楽しんでいるお年寄りや武道に励む少年をジョイントすることで世代を超えた市民合意の場をつくらうというねらいです。武道を通して明るく調和のとれた青少年を育成するというのも勿論、目的のひとつで当日は王子スポーツセンターを借りきって2千名規模の集いをする予定です。

また保存血液の不足が社会問題となっておりまして、この機会に市民へボランティア活動としての献血を呼びかけます。

井上 兵庫津の探访と武道大会の両方を担当していますが、過去の歴史の流れのルールを見ながら展望しない未来は幻であるというのが私の考えです。過去から今日までの流れを見なければ現状の認識もできないし、未来も展望できないのにその部分が空白である。と同時に神戸が観光に力を入れている中で歴史遺産のたくさん残る兵庫を見直すべきだという考えです。武道についてはスポーツとしての立場から見直しながら教育問題や精神的なものを探ってみたいというふうに思っています。

大月 経済の柱では、経営セミナーから紹介します。「活力ある創造を求めて」がテーマで、不透明時代、変化の時代といわれる今日、価値観の多様化と新しい価値体系の誕生が進んでいます。経営者として視野を広げ勉強していくことが目的で、講師には各分野より著名な方々をお招きしてあります。従来経済同友会が夏季講座をやっていたんですが、昨年からJCが共催という形になり、今年も継続して行なうわけです。

川口 神戸青年経済人セミナーは神戸経済が変動期に入ってきた中で、今後どのような方向を進んでいくべきかについて米花稔先生の講演をいただくほか、フアッション、港湾・貿易・建設、観光・サービスの4分科会を開きます。各ジャンルの若手経済人の方々、行政関係者



などで討論していただき、積極的な提言を行なっていくたい。これには経済同友会に後援していただきます。

石丸 経済と国際の両事業にまたがっているのが空港シンポジウム「海から空へ」です。JCは10数年来、この問題に取り組んできましたが、昭和46年に航空審答申が出てからは孤軍奮闘でようやく最近光が見えてきた感じです。我々としては昨年9月28日の『海から空へ』出版記念会で神戸のオビニオンリーダーへの啓蒙はほぼ終ったととらえ、この動きを更に一般市民のレベルまで広げるのが本年の目標です。深田祐介さんの基調講演と市商連、組合、婦人団体、青少年団体、JCの兵庫ブロックなど5団体による分科会を行ないます。大きな問題で、我々JCが協役に回るくらいでないと運動は進まない。その意味ではJCが独自に取り組む最後の場になると思いますので、特に力を入れたい。

小倉 国際事業では貿易摩擦の問題を取り上げています。神戸は国際都市と言われているが、我々市民がはたして真の国際人かと問われると心

もとない。外国人に慣れている反面、閉鎖的なところもある。我々が世界人としてどう生きていったらよいかを考える上で貿易摩擦というのは大変重要なテーマであるわけです。在神の外国人の方から話を聞くだけでなく、国内の各領事館に直接インタビューしてビデオに収めました。各企業の輸出担当者の意見もインタビューをしています。

日野 行政の柱では、いま問題の行政改革を取り上げようと勉強を進めています。中央では第二臨調が開かれています。我々は身近な市の行政について考えようという事です。行政の範囲は非常に広くて先ほどから出ている問題のすべてが政治・行政に行きあたりますが、行政のサービスのあり方の中に過剰な部分はないだろうか、或いは市民の側の甘えによるものはないだろうか。JCとしては行政サービスと市民の接点をどう求めるかという問題に絞り、神戸大学の中村五郎教授をコーディネイターに行政、自治会・婦人団体代表などの意見を伺います。市民の立場から行政のあり方を見ていくというのは大切なことで、単年度の事業に終わることなく継続して進めていきたいと思います。

小倉 以上が5つの柱にそった事業の概略ですが、いずれも市民とのコンセンサスを大切にするという方向で一貫している。最後のしめくくりとして懇親パーティを予定し、心の交流を深める場にしたい。全体として社会の根幹にふれるものをやっている、ここでは柔らかに楽しい雰囲気を出していきたいですね。

馬田 私は全体の広報を担当していますので、JCにとって今年度最大のイベントをどうアピールしていくかが課題です。全てが耳障りのよいことばかりでないだけに何故JCが主張するのかを市民の皆さんに理解してもらえれば幸いです。

宇尾 JCウィークが全体として成功するように働いていますが、中身の深い部分が出てきていますので、ぜひ楽しみにしてほしいと思います。



# JC WEEK in Kobe

## 神戸いま21世紀への出発

—生きがいと活力ある社会をめざして—

先人の轍のあとに  
青年は 清新の気魄を  
旅の衣につつま  
いま 扇の港より世界の  
道へ出発の時

### ＜文化＞

神戸文化の創造

「みなと神戸のルーツ」

兵庫津を探る

8月1日13時～17時

兵庫駅浜側一帯を散策

講師／名生昭雄（県立鈴

蘭台西高校教諭）

### ＜社会＞

生きがいのある人生

「世代を超えた心のふれ

あい—武道とゲートボー

ル市民の集い」

8月3日9時～17時

神戸市立王子スポーツセ

ンター、武道・体育館、

ゲートボール・陸上競技

場

「愛の献血」

8月7日10時～15時

国際交流会館前

＜経済＞

経営基盤の充実

「経営セミナー—活力あ

る創造を求めて」

8月6日10～15時

8月7日10時～12時

神戸国際会議場

講師／吉田健三（川崎製

鉄顧問）、藤井康夫（龍

正興産業株式会社

取締役社長 秋田 博正

西宮市久保町二一

電話 〇七九八 二二二七〇一

角南商事株式会社

取締役社長 角南 猛夫

神戸市中央区小野柄通七一十

八三宮ビルF  
電話 〇七八二 二五一五五一

関西貿易株式会社

取締役社長 竹田 剛男

神戸市兵庫区出在家町二六一九

電話 〇七八六 六七一一六〇二

光印刷株式会社

取締役社長 南部 圭三

西宮市津田町三一六

電話 〇七九八 三六一一五五一

田崎真珠株式会社

取締役社長 田崎 俊作

神戸市中央区旗塚通六一三一〇

電話 〇七八二 二二二一三三二二

株式会社 菊水総本店

取締役社長 菊水 啓輔

神戸市中央区多聞通三三一一五

電話 〇七八三 三八二〇〇八〇

柏井紙業株式会社

取締役社長 柏井 健一

神戸市中央区加納町四丁目一

二二一  
電話 〇七八三 二二二二六〇一

神栄石野証券株式会社

取締役社長 石野 成明

神戸市中央区茶町通二丁目一五

電話 〇七八三 三九一〇〇〇一

パンドー化学株式会社

代表取締役 雀部虎四郎

神戸市中央区御幸通六一二二

三宮ビル東館  
電話 〇七八三 二二二二九三

三田国際ゴルフクラブ  
関西観光開発株式会社

代表取締役 片山 開

三田市大川瀬一六七

電話 〇七九五 八八一三七一

神戸営業所・兵庫柳原町九五

電話 〇七八六 六五二一〇三九

土居自動車工業株式会社  
株式会社

ジェミニオート神戸西

代表取締役 土居 丈治

神戸市長田区腕塚町一〇一〇

電話 〇七八六 四三〇四八三

樽本産業株式会社

取締役社長 樽本 久

神戸市兵庫区七宮町一〇一〇十二

電話 〇七八六 六七一一六三三



角散社長、立石一石(立石電機会長)

「神戸青年経営人セミナー」神戸その未来のために」

8月7日13時～17時

神戸国際会議場

「空港シンポジウム」海から空へ」

講師／深田祐介

〈国際〉

真の国際都市への発展

「国際問題シンポジウム

貿易摩擦―保護と解放の分岐点」

8月7日14時～16時30分

神戸国際会議場

講師／新野幸次郎(神戸大学教授)

〈行政〉

行政改革

「行政サービス討論会―

行政サービスの在り方、

受け方をめぐる市民の役割を考える」

8月7日13時30分～15時

40分 神戸国際会議場

コーディネーター／中村

五郎(神戸大学教授)

〈夏の集い〉

懇親パーティー

8月7日17時30分～19時

神戸国際会議場

株式会社 三富商店

取締役社長 木下 健

神戸市中央区播磨町四九番地  
電話(〇七八)三三二一五二五

合名会社 高橋兄弟商会

代表社員 高橋 利栄

神戸市中央区山本通一六二〇  
電話(〇七八)三三二一〇七五

株式会社 神戸眼鏡院

専務取締役 鳥越 哲

神戸市中央区元町通三六二二  
電話(〇七八)三三二一二二二

川西倉庫株式会社

代表取締役 川西 章二

神戸市兵庫区兵庫町一一一三四  
電話(〇七八)六七一九九三二

六甲バター株式会社

代表取締役 塚本 哲夫

神戸市中央区坂口通一一三一二  
電話(〇七八)三三二一四六八

澤の鶴株式会社

常務取締役 西村 隆治

神戸市灘区新在家南町五一一二  
電話(〇七八)八八一一二三四

株式会社

神戸マツダモータース

代表取締役 橋本 一豊

神戸市兵庫区東柳原町三一〇  
電話(〇七八)六七一一五〇二

UCC上島珈琲本社

代表取締役 上島 達司

神戸市中央区多間通五一  
電話(〇七八)三六一八八〇〇

大工建設株式会社

取締役社長 西宮 章泰

神戸市灘区大内通六一一二  
電話(〇七八)八〇一一五七四五

株式会社

ロックフィールド

代表取締役 岩田 弘三

神戸市灘区魚崎浜町二七一〇  
電話(〇七八)四五二〇〇八

株式会社 北野クラブ

社長 浅木 幸雄

神戸市中央区北野町一一五一七  
電話(〇七八)三三二一五二二

日本料理

婆 羅

代表取締役 中尾 襄

神戸市中央区北長狭通一一九一三  
阪急三宮駅西口北側  
電話(〇七八)三三二一六三六三